

過去のルールに関する質問

- ・ラフにボールが止まったが、マークをした地点から 30 cm以内にフェアウェイがあった場合、フェアウェイにプレーしても良いか？
⇒ **ラフもフェアウェイもジェネラルエリアなのでOKです。**
- ・Aがチョロ、Bの球は約 250 ヤード先のOB付近に飛んで行ってOBかセーフかわからない。このような場合、Bの球がセーフならBのティーショットを選択することをマーカチームに伝えておけば、Aのチョロした球を暫定的に打っていても良いか？
⇒ **時間短縮のためOKです。**
- ・Aがセカンドショットを打ったら、カップに入りかけ、OKの位置についた。そのボールを選択することが明らかな場合、Bはセカンドショットを打たなくてもよいか？
⇒ **OKです。いかなるショットも、ある選手の球を選択することが明らかな場合、もう一人の選手は打たなくてもかまいません。**
- ・一般男性と女性のチームなどの場合で、男性が打つと前組に届く可能性があるが、女性が赤マークから打つと前組に届かない場合、女性から先にティーショットしても良いか？
⇒ **時間短縮のためOKです。**
- ・Aのティーショットを選択した。その場合のセカンドショットの打順は、Aから打たなければならないか？
⇒ **如何なるショットの打順もチーム内で決めることができます。**
- ・グリーン上で、Aがパットを打つとき、パートナーのBは真後ろでラインを見ていても良いか？
⇒ **ゴルフ規則ではキャディーであってもスタンスをとる時に真後ろに立つことはできませんし、他のプレーヤーが打つときに真後ろに立つことはマナー違反です。たとえパートナーであろうとも、最初から真後ろに立って見るのではなく、打った後に移動してラインを見るようにしましょう。**
- ・グリーン上でAがバーディートライとなるファーストパットを打ったが、外してしまった。Bはまだ打っていないが、Aがタッピンしたら外してしまい、再度「お先に」でボギーとなった。この場合は？
⇒ **当協会のスクランブルのルールでは、時間短縮のため「お先に」を認めています。この場合、Bがファーストパットで入れば、バーディーとなります。Bが外した場合、Aが先にタッピンをした箇所が選択した位置となりますので、そこから打たなければなりません。ですので、Aは、Bがファーストパットを外した時点で、Aがタッピンした箇所を推定してマークしなければなりません。Bはその位置から打ち、入ればパーとなり、外せばAのボギーが採用されます。**

・距離計は使用してよいか？

⇒ 2点間の距離のみ計測できます。高低差の計測は不可です。競技用モードに切り替えの
できる機種であれば、高低差の出ない設定で使用してください。

・チームのプレーヤーBが体調不良になり、途中棄権した。

⇒ 原則は、そのチームは失格となり入賞の資格を失いますが、特例として、プレーヤー2
人が7ホールのティーショットの選択をクリアした後の棄権であれば、プレーヤーA
が残りのホールを1名でプレーすることで、チームのスコアとして認めます。

・Aチームは、右打ちのBと左打ちのCのペアであった。Bがティーショットを打ったところ、
OBとなった。Cのティーショットはカート道路に止まった。よってCのティーショットを選
択したのだが、カート道路からの救済はB・Cどちらがニアレストポイントを決めればよい
か？

また、Cがニアレストポイントを決定し、カート道路の右サイドにドロップした。Cは左打ち
なので、そこから30センチ以内にプレースし打ったが、右打ちのBが30センチ以内にプレ
ースしたところ、カート道路にスタンスがかかった。

⇒ Cのボールを選択したのであれば、Cが救済のニアレストポイントを決定し、ドロップ
するべきです。

如何なるショットも、打順についてはチームの任意となります。Cが先に打ったあとで、
Bがカート道路にスタンスがかかるのであれば、その時にBが再度救済のニアレストポ
イントを決定しドロップをすることができます。

また、Bが2打目を先に打つことにした場合、Bはカート道路にスタンスがかかるでし
ょう。この場合、Bが再度救済のニアレストポイントを決めしドロップすることができ
ます。ドロップしたら、B・Cともその位置から30センチ以内にプレースして打つこ
とができます。